

平成27年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金の運用実績)

(単位：千円)

事業区分	基金の 保有区分	平成27年度 当初保管額	運用益繰入額	平成27年度 支出済額	平成27年度 年度末保管額	今後の 支出予定額	保有 割合
中間貯蔵施設整備等 影響緩和交付金 基金事業	地方債	10,000,000	36,794	0	10,036,794	10,036,794	1.00
	定期預金	36,100,000	21,209	28,458	36,092,751	36,092,751	1.00
合計		46,100,000	58,003	28,458	46,129,545	46,129,545	1.00

- ※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること。
- ※ 基金の保有区分は、実施要領第3の1で定める「基金の運用方法」を参考に記載すること。
- ※ 運用益繰入額は、当該年度に基金の運用によって生じた果実の金額を記載すること。
- ※ 支出済額は、当該年度内に支出負担行為を行い、出納整理期間に支出をしたものを含む。ただし、当該年度に債務負担行為のみを行ったものについては含まない。
- ※ 保有割合は、補助金等の交付により造成した基金等に関する基準（平成18年8月15日閣議決定）に従い算出すること。（通常の取崩し型事業であれば、「平成〇年度末保管額／今後の支出予定額」により算出すること。）

平成27年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金事業の結果)

事業名	事業 実施主体	事業経費（千円）						目標	目標 達成度 ・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、 経費の使用方法・内訳を含む。)
		基金充当費		単独経費		合計				
		予算	決算	予算	決算	予算	決算			
大熊町中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金交付事業運営	福島県大熊町	45,100	28,458	224	189	45,324	28,647	大熊町中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金交付事業の運営を通して大熊町の町民の生活再建支援を行う。	長期にわたる目標を着実に達成していく必要があり、事業の初年度となる平成27年度においては、包括委託業者の選定等基盤となる事業を実施し、次年度からの補助金交付のための環	<p>【目的】</p> <p>中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、大熊町の町民のニーズに基づいて、「ふるさとの結びつき維持」や「生活空間の維持・向上」などにかかる費用を補助することにより、大熊町の町民の生活再建等を支援するための事業を運営することを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>大熊町中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金交付事業を実施するため、補助上限額等の管理のための電算システムの構築及び運営、冊子等の発送業務やシステム入力、コールセンターの運営等、並びに福島県産品カタログ購入を</p>

									<p>境が整備されたことから、目標を概ね達成することができた。</p>	<p>行い、大熊町の町民の生活再建等を支援する。</p> <p>【完了期日】 平成28年3月31日</p> <p>【経費の使用方法】 基金充当費</p> <p>○事業費：28,458千円</p> <p>○内 容：補助上限額等の管理のため電算システムの構築、コールセンター、受付・審査業務等の管理運営について、包括して委託。福島県産品カタログ購入。</p>
										<p>単独経費</p> <p>○事業費：189千円</p> <p>○内 容：中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金事業に係る打合せ等職員旅費。</p>